

2024年度
OUフェローシップ募集説明会
次第

- 1 開会挨拶
- 2 概要説明
- 3 募集要項等説明
- 4 質疑応答
- 5 閉会挨拶

2023年8月25日(金) 17:00~

第6期科学技術・イノベーション基本計画

出典:内閣府作成

- コロナ禍が国内外の情勢変化（米中対立、気候変動等の脅威、GAFAt台頭の弊害等）を加速
- 基本計画では、①イノベーション力の強化、②研究力の強化、③教育・人材育成の3本を柱とする
- 5年間で、政府の研究開発投資の総額 約30兆円、官民の研究開発投資の総額 約120兆円 を目指す

科学技術・イノベーション政策の3本柱

イノベーション力の強化

- 社会のデジタル化、カーボンニュートラルの実現
- レジリエントで安全・安心な社会の構築
- スマートシティの展開
- 社会実装による課題解決

持続可能で強靱な
社会への変革

研究力の強化

- 博士課程学生や若手・女性研究者の支援強化
- 基礎研究・学術研究、人文・社会科学の振興
- 大学改革(経営体への転換)、10兆円規模の大学ファンド

「知」の創造

教育・人材育成

- 初等中等教育段階からのSTEAM教育*やGIGAスクール構想の推進
 - リカレント教育を促進する環境・文化の醸成
- *理数及び創造的教育手法 (Science, Technology, Engineering, Arts and Mathematics)

新たな社会への
対応

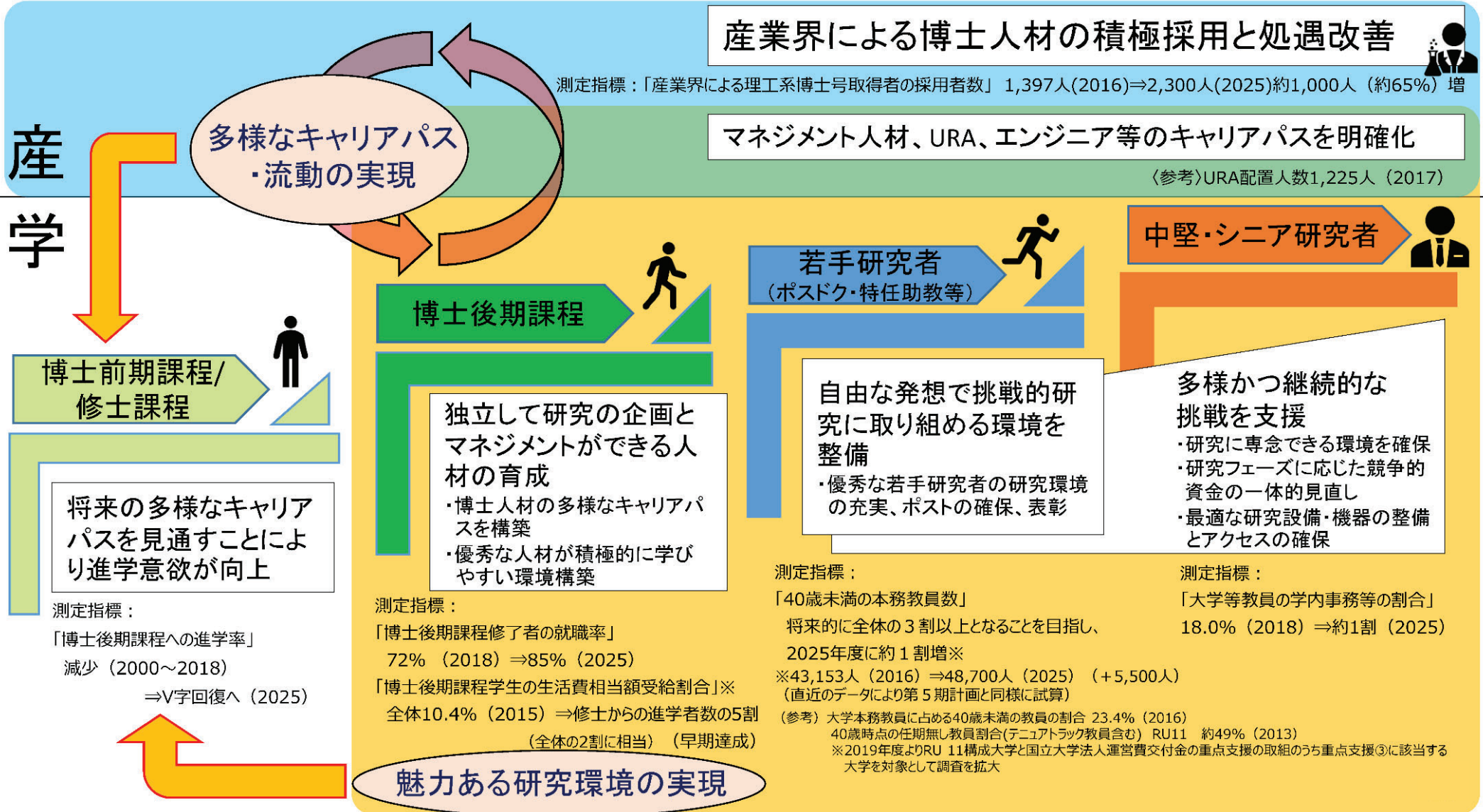
目指す社会像

国民の安全・安心が
確保された社会

一人ひとりの多様な幸せが
実現できる社会

目標

①若手の研究環境の抜本的強化、②研究・教育活動時間の十分な確保、③研究人材の多様なキャリアパスを実現し、④学生にとって魅力ある博士課程を作り上げることで、我が国の知識集約型価値創造システムを牽引し、社会全体から求められる研究者等を生み出す好循環を実現。

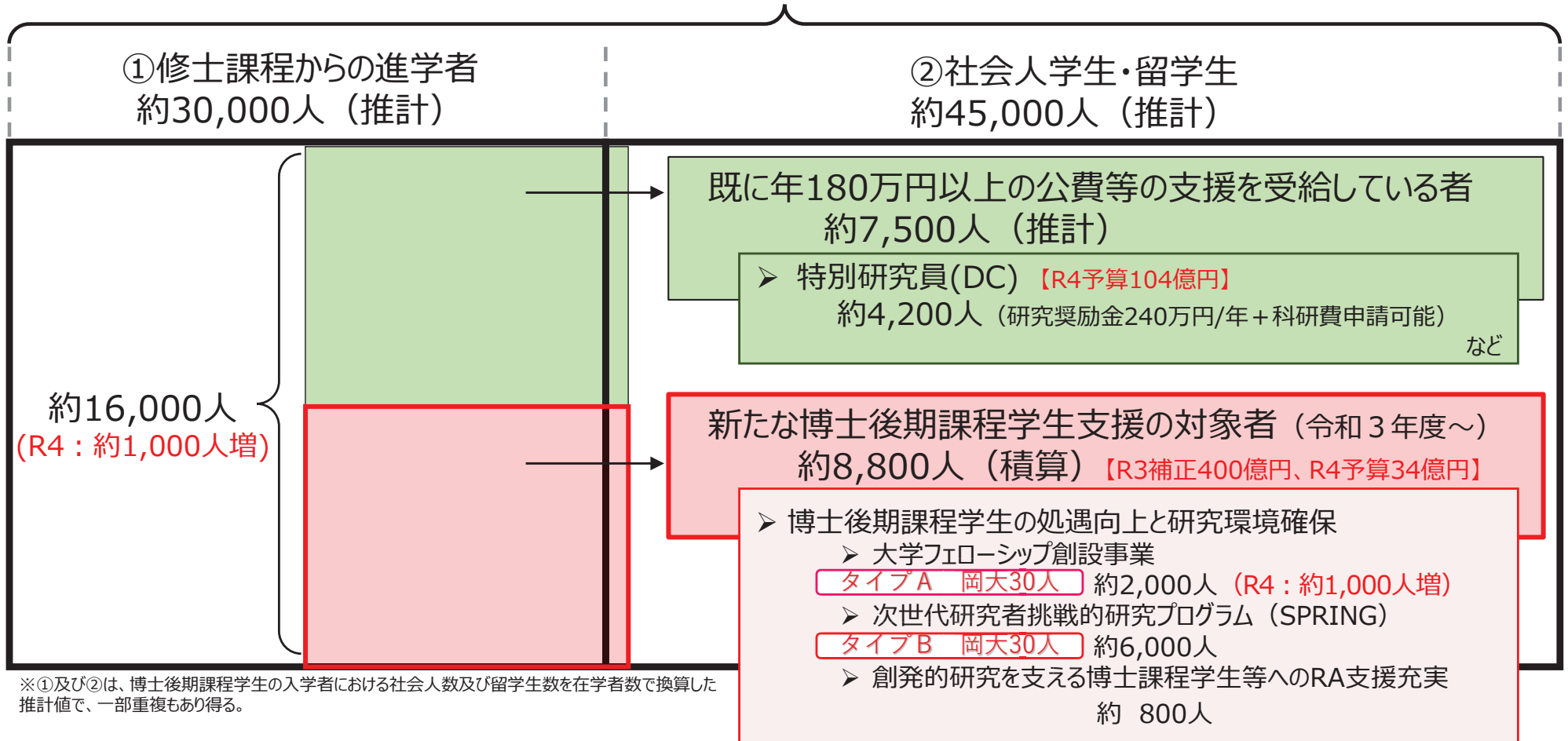


我が国の博士後期課程学生支援の概況と目標

1. 概況 (R4年度)

博士後期課程在学者数：75,295人（令和3年度）

（出典）文部科学省、学校基本調査



※①及び②は、博士後期課程学生の入学者における社会人数及び留学生数を在学者数で換算した推計値で、一部重複もあり得る。

2. 目標

第6期科学技術・イノベーション基本計画：2025年度までに、生活費相当額を受給する博士後期課程学生を従来（※約1割）の3倍（=約22,500人）に増加

第4期における本事業の位置付け

国立大学法人岡山大学 第4期中期目標

2 教育

(4)深い専門性の涵養や、異なる分野の研究者との協働等を通じて、研究者としての幅広い素養を身に付けさせるとともに、独立した研究者として自らの意思で研究を遂行できる能力を育成することで、アカデミアのみならず産業界等、社会の多様な方面で求められ、活躍できる人材を養成する。(博士課程)⑧

3 研究

(2)産業界等との連携・共同によりキャリアパスの多様化や流動性の向上を図り、博士課程学生やポストドクターを含めた若手研究者が、産学官の枠を越えた国内外の様々な場において、自らの希望や適性に応じて活躍しその能力を最大限発揮できる環境を構築する。⑯

国立大学法人岡山大学 第4期中期計画

(9-1)博士後期課程学生の処遇向上並びにアカデミア及び産業界を含めた、多様なキャリアパスの確保を全学的な戦略の下で一体的に推進することで、優秀な人材が積極的に 学びやすい環境を構築・整備する。



大学院博士後期・博士課程学生＝若手研究者の一員であることを第4期中期目標・中期計画で明示し、大学のミッションとして取り組む。

OUフェローシップ事業概要



博士後期課程・4年制博士課程在籍期間を通じた支援



OUフェローシップ対象者

下記研究科の博士後期課程・博士課程

- ・社会文化科学研究科
- ・自然科学研究科
- ・環境生命自然科学研究科
- ・保健学研究科
- ・医歯薬学総合研究科
- ・環境生命科学研究科
- ・ヘルスシステム統合科学研究科

支援内容

- ・生活費相当額の支給
- ・研究費の支給
- ・研究力向上とキャリアパスの支援に向けた様々な取組の提供

「重点研究分野（3領域・15分野）を中心にした研究力向上に関する取組」

- ・重点研究分野を中心に共同研究や大型研究プロジェクトに参画する機会を提供

岡山大学若手科学者アカデミー・ダブル総括メンター制度・交流の場の提供等による研究等支援

- ・若手研究者との交流、国際学会等参加への支援、英語を含むプレゼン講習会等の企画提供等
- ・研究面とキャリア面でのダブルメンター制

博士人材－企業との交流強化

- ・会員制組織「岡山大学パートナーズ」との連携により、インターンシップ、企業関係者との交流会等を幅広く実施

キャリアパス支援に関する取組

- ・講義・セミナー、企業とのキャリア交流会、企業を中核とした研究発表交流会、研究インターンシップ派遣
- ・定期的な個別キャリア面談を実施

高度な専門性
優れた研究力
そして
トランスファ
ラブルスキル
を身に着けた
高度博士人材
の輩出

OUフェローシップについて

「岡山大学科学技術イノベーション創出フェローシップ(OUフェローシップ)」を下記のとおり実施

- ・「大学フェローシップ創設事業」に基づくOUフェローシップ ⇒ タイプA
- ・「次世代研究者挑戦的研究プログラム」に基づくOUフェローシップ ⇒ タイプB

➡ **2024年度採用者からは「OUフェローシップ」として一括して募集を実施**

	内容
一人あたりの支援額 (年額)	定額支給額：220万円 研究奨励金(生活費)：180万円※1 研究費：40万円程度
募集人数	1年次：20名程度 2年次～4年次：若干名
支給期間	原則標準修業年限以内
応募条件	日本学術振興会特別研究員：応募不可 国費・政府派遣留学生：応募不可 社会人：応募可※2

- ※1 学内外の奨学金等との併給について、当該奨学金等が減額調整される場合や併給不可となる場合があります。
※2 生活費相当額として十分な水準(240万円/年程度)の収入を得ている方は応募不可となります。

OUフェローシップとJSPS特別研究員等の違い

	OUフェローシップ	JSPS特別研究員
支給額	生活費相当:年額180万円 研究費:年額40万円程度	生活費相当:年額240万円 研究費:年額150万円以内
学内奨学金※との併給	フェローシップ(180万円)と併せて240万円までは併給可能。	併給不可。

※①公益財団法人大本育英会給付奨学金、②岡山大学大学院博士後期課程就学支援奨学金、③研究科、専攻で設けている独自奨学金(入学一時金を除く。)等。

- ・OUフェローシップとJSPS特別研究員を同時に申請することは可能です。ただし、併給はできませんので、両方採択された場合はいずれかを辞退していただきます。
- ・OUフェローシップ受給期間に申請することも可能ですが、JSPS特別研究員に採択された場合はOUフェローシップを辞退していただきます。



OUフェローシップとJSPS特別研究員の併給は不可



OUフェローシップ 2024年度募集説明会

2023年8月25日（金）

17：00～18：00

OUフェローシップ概要

【2023年度まで】

- 「大学フェローシップ創設事業」に基づくOUフェローシップ ⇒ タイプA
- 「次世代研究者挑戦的研究プログラム」に基づくOUフェローシップ ⇒ タイプB

【2024年度以降】

「OUフェローシップ」として一括して募集を実施

	内容
一人あたりの支援額 (年額)	定額支給額：220万円 研究奨励金(生活費)：180万円※1 研究費：40万円程度
募集人数(2024年度)	1年次：20名程度 2年次～4年次：若干名
支給期間	原則標準修業年限以内
応募条件(2024年度)	日本学術振興会特別研究員：応募不可 国費・政府派遣留学生：応募不可 社会人：応募可※2

※1 学内外の奨学金等との併給について、当該奨学金等が減額調整される場合や併給不可となる場合があります。

※2 生活費相当額として十分な水準(240万円/年程度)の収入を得ている方は応募不可となります。

説明事項

- (1) 募集要項について
- (2) 申請書について
- (3) 所見書について
- (4) 収入見込額証明書について

1. 予定人数

2024年4月時点で下記研究科に在籍する者（選抜試験受験予定者を含む）
※2023年10月に進学・進級した者も含む

- 1年次相当（※一貫制博士課程は3年次）：20名程度
- 2年次相当（※一貫制博士課程は4年次）：若干名
- 3年次相当（※一貫制博士課程は5年次）：若干名
- 4年次：若干名

課程種別	研究科
区分制の博士後期課程	社会文化科学研究科 自然科学研究科（地球惑星物質科学専攻を除く） 環境生命自然科学研究科 保健学研究科 環境生命科学研究科 医歯薬学総合研究科（薬科学専攻） ヘルスシステム統合科学研究科
一貫制の博士課程	自然科学研究科（地球惑星物質科学専攻）
医学・歯学・薬学系の4年制博士課程	医歯薬学総合研究科（薬科学専攻を除く）

2. 申請資格

修学・研究意欲が高く、研究に専念することを希望する方。
社会人学生の方も応募可能。ただし、次に当てはまる方は除きます。

- (1) 生活費相当として十分な水準の安定的な収入を得ている学生 (※)
- (2) 日本学術振興会 (JSPS) の特別研究員
- (3) 国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生及び本国から奨学金等の支援を受ける留学生

※「生活費相当額として十分な水準の収入」の基準は、240万円/年。

- ⚠ 研究等に専念できるという前提で、アルバイトやTA・RAを実施することは問題ありません。ただし、収入が240万円/年を超える場合は、収入見込額証明書を提出してください。
- ⚠ 2023年度は240万円/年の収入があっても、退職等の理由により2024年度は基準の収入を超えない見込みの場合は、応募可能です。
- ⚠ OUフェロースhipとJSPSの特別研究員に同時に申請することは可能ですが、両方採択された場合は、どちらかを辞退いただくこととなります。採択後の受給期間中も同様の取扱いです。

3. 支給額、支給期間等

(年額)

◆支給額

OUフェロシップ支給額 (年額)

研究奨励金 (生活費) : 180万円

研究費 : 40万円程度

◆支給期間

支給期間は標準修業年限以内 (原則3年間、4年制博士課程の場合は4年間) に限ります。

⚠ 次の学内奨学金を併給する場合は、年間受給額の総額が240万円を超えないように当該奨学金又は生活費相当額を調整します。

- ① 公益財団法人大本育英会給付奨学金
- ② 岡山大学大学院博士後期課程就学支援奨学金
- ③ 研究科、専攻で設けている独自奨学金 (入学一時金を除く。)

4. 申請手続

- 申請書（PDFで提出）
- 収入見込額証明書（社会人学生等収入のある場合のみ）
- 所見書（PDFで提出）

提出期限：9月25日（月）17時（JST）【期限厳守】

※上記のすべての書類を期限までに提出してください。

⚠ 注意事項

- 事務局へメールで提出してください。
メールの件名は必ず「2024_application_氏名」としてください。
- 所見書は、作成者から直接事務局へ提出してください。
- 申請書及び所見書は、期限内であっても原則差替え等は受け付けません。
いずれも時間的余裕を持って取りかかり、必ず指導教員と相談の上、提出してください。

5. 選考及び結果通知

書面審査 (一次審査)

受付期間：9月1日（木）～9月25日（月）17時
書面審査の結果は、10月末日までに本人宛通知。

面接審査 (二次審査)

実施日：11月1日（水）～11月7日（火）
オンラインにより、一人10分程度で3分程度のプレゼン+質疑応答を予定。
面接日程は、事務局から日時を指定して通知。（事前に対象者へ日程照会はしない）

最終結果通知

面接審査実施後、最終結果を11月末日までに本人宛通知。

6. 選考方針

修学・研究意欲が高く、本学の重点研究分野の研究を推進し、ひいては、将来の我が国の科学技術・イノベーション創出を担うことが期待できる研究者であると認められる者を対象者に決定します。

- (1) 豊かな創造性と深い洞察力に裏打ちされた独創的な課題設定能力を有するか
→研究計画、研究の特色・独創的な点、将来目標等
- (2) 研究を遂行する能力が優れているか
→これまでの研究活動実績、所見書等
- (3) 高いコミュニケーション能力を有するか
→面接審査、所見書等
- (4) 「岡山大学最重点研究分野」に該当する研究にどのように貢献できるか
→「岡山大学最重点研究分野」の該当の有無、貢献するためのビジョン・方法等

◆岡山大学最重点研究分野

- ① 農作物・植物科学分野
- ② ヘルスケア分野
- ③ IT・エレクトロニクス分野
- ④ 惑星科学・宇宙物理分野
- ⑤ 革新材料分野
- ⑥ 考古学分野
- ⑦ ①～⑥に関する融合研究、サービス・社会制度設計

7. OUフェローシップ対象者の義務

対象者は、次の事項を履行する義務があります。

なお、「8. その他留意事項」に記載されている誓約書は、下記事項について履行義務があることを確認し、申請書に記載した研究計画を踏まえた研究活動に専念することを誓約するものです。

- (1) 年度毎の研究進捗報告書（指定様式）の提出（9月及び3月）
- (2) 定期的なメンターとの面談（原則、2ヶ月に1回）
- (3) 研究力向上・キャリアパス支援に関する企画（プレゼン講習会、トランスファラブルスキル・トレーニング、企業等との交流会等）への参加
- (4) 申請書の「申請資格の確認」欄の記載内容に変更が生じた際の報告

8. その他留意事項

- (1) 対象者には、研究活動に専念すること等について誓約書を提出していただきます。
誓約書の内容については、「7. OUFELLOWSHIP対象者の義務」を参照。
- (2) 対象者と本学の間には雇用関係はありませんが、研究奨励金（生活費相当）は、税法上雑所得と扱われ、課税の対象となります。そのため、確定申告が必要となります。
- (3) 研究費については、大学の管理下(指導教員のもと)で適切に使用していただきます。
- (4) OUFELLOWSHIPは国の事業によって実施されるものであり、フェロシップで支給する研究奨励金（生活費相当）及び研究費は、「日本での研究活動」を支援するという前提のもとで実施されることが国の制度によって決まっております。よって、新型コロナ感染状況等により渡日できていない方には支給することができませんのでご注意ください。
- (5) OUFELLOWSHIPに採用された場合、JASSOの第一種奨学金（無利子）の「特に優れた業績に係る返還免除制度」の対象外となります。

説明事項

- (1) 募集要項について
- (2) 申請書について**
- (3) 所見書について
- (4) 収入見込額証明書について

1. 申請者情報

- 性別

性別は審査に影響しません。回答したくない場合は空欄で構いません。

- 学生番号

応募時点で岡山大学に在籍している方は記載してください。

学外の方（2024年4月に入学予定の方）は記載不要です。

- 申請資格の確認

採択後に記載内容の誤りが発覚した場合は、受給資格を喪失する場合があります。必ず誤りのないよう記載してください。

「申請資格」の特別研究員の項目について、特別研究員(2024年4月採用分)の面接候補者等となっている場合は、その状況を特記事項欄に記載してください。

「他の奨学金等」の項目は、念のため学外の奨学金（JASSO等）についても受給状況を記載してください。

2. これまでの研究活動実績

(1)～(6)に留意して記入してください。

研究活動実績がない場合も、なるべく現時点で記入できる内容を記入してください。
(準備中の論文や学会、その他の項目等)

3. 研究タイトル及び「岡山大学最重点研究分野」の該当の有無

(1)「研究タイトル」に記載した研究が「岡山大学最重点研究分野」に該当する場合は①～⑦のいずれかを、該当しない場合は⑧にチェックを入れてください。

また、①～⑦のいずれかを選択した場合は、自身の研究がどのようにその分野に該当し、貢献するのかを記述欄に記載してください。

4～7

申請書に記載の指示に従い、十分な文量を記入してください。

⚠ 注意事項

- 提出の際は、PDFで提出してください。
- ポイント数とページ数以外は、特に指定はありません。
必ず9ページ以内で作成してください。
- 研究内容等については、図表等を用いて専門外の人にも分かりやすく記述してください。
- 英語で記入いただいても構いません。
- 期限内であっても原則差替え等は受け付けませんので、指導教員と相談し、よく確認の上、提出してください。

説明事項

- (1) 募集要項について
- (2) 申請書について
- (3) 所見書について**
- (4) 収入見込額証明書について

所見書の作成について

- 所見書は、ご自身の研究内容をよく知る方に作成を依頼していただきます。
- 提出の際は、作成者から直接事務局へ送付してください。
- 所見書の作成は、応募時点での指導教員に依頼しても、博士後期課程（博士課程）進学後の指導教員に依頼しても構いません。

⚠ 注意事項

- 提出の際は、PDFで提出してください。
- 所見書の提出期限も、申請書と同日（9月25日（月）17時（JST））です。
申請書は提出されているが、所見書が提出されていないといった事例もありましたので、必ず作成者に提出期限をご確認いただき、期限までに提出してください。
- 原則差替え等は受け付けませんので、よく確認の上、提出してください。

説明事項

- (1) 募集要項について
- (2) 申請書について
- (3) 所見書について
- (4) 収入見込額証明書について

収入見込額証明書の作成について

- 社会人学生等収入のある方は提出してください。
- アルバイトやTA・RAについては提出不要です。

ただし、アルバイトの場合でも240万円/年程度の収入が見込まれる方は、提出が必要です。



令和5年度OUフェローシップ認定証授与式の模様



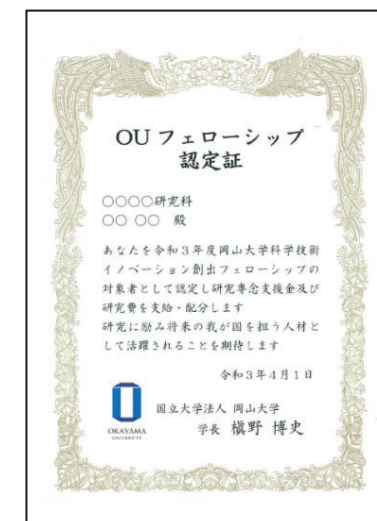
令和5年度OUフェローシップ認定者集合写真

令和5年5月に学長、教学担当理事、研究・産学共創総括担当副理事同席のもと、OUフェローシップの認定証授与式を開催。

式終了後には、那須学長も加わり、車座になって意見交換会を開催。大塚研究推進機構特任教授、町田教育推進機構准教授、佐藤研究・産学共創総括担当副理事の司会のもと、認定者が自分自身や研究について1分間でプレゼンテーションする「フラッシュ・トーク」を実施して交流を深めた。

※岡山大学HPに「新着ニュース」として掲載

[令和5年度OUフェローシップ認定証授与式を挙行](#) (2023年5月11日)



OUフェローシップ認定証

研究活動の支援として、自身の研究活動の幅を広げるとともに、国際的な場で活躍できる人材となっただけのため、下記の取組みを実施しています。

【具体的な支援内容】

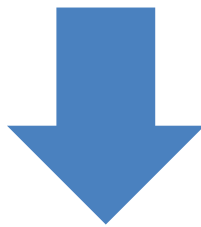
- ・国際学会等参加への支援
- ・科学者教育等の支援
- ・各種セミナーや講習会等の実施

【昨年度に実施したセミナー例】

- ・英語論文執筆セミナー
- ・英語プレゼンテーションセミナー
- ・セミナー「実験ノートの記録の残し方」
- ・知財セミナー「知的財産のイ・ロ・ハ・ニ 若手研究者・大学院生のための知財入門」

オンラインツールを活用してウィズコロナ社会における活動の活性化を図る。

- ・対象者専用のSNSを開設・運用し、相互交流・迅速な情報伝達を図りモチベートする。
- ・事前課題を提示したオンラインセミナー・オンライン面談及び企業との交流会を定期的に開催し、対面時以上のコミュニケーションを企図する。
- ・対面では比較的困難な、遠隔地人材・研究者とのオンラインでの交流を企画し、研究・キャリア開発に供する。





昨年度からは徐々に対面でのイベントを実施しており、今年度も引き続き対面でOUフェロースhip生同士が交流できる機会を提供していく予定。


→9/28(木)OUフェロースhip研究成果報告会を実施予定。


2023年5月度


【キャリア】
オンラインによる企業交流会の開催
5月25日(木) 機械・電気電子・材料系企業が参加
5月26日(金) 化学・医薬・バイオ系企業が参加
研究インターンシップを食めた企業への早期アプローチが可能です。
MOODLEトップに配置のPDFチラシを確認し、登録の上意欲的にご参加願います。
(本年度は5月及び6月の【オンラインによる企業交流会】参加促進のため、本学単独の前期企業交流会は開催いたしません。5月及び6月に開催される上記企業との交流会を有効活用願います。)


 【OUフェロースhip事務局】認定証授与式開催 (5/9 10時~12時) Request to Attend the OU Fellowship Awarding Ceremony (May 9, 10:00-12:00) PDF document


 **2023年05月15日**の終わりまで利用可


 【要予約】研究インターンシップを企図した博士人材を採用する春の企業交流会 PDF document

 【オンデマンド教材配信中】7つの習慣でトランスファブルスキルを学ぶ 配信しています。

 【キャリア・要事前予約】研究インターンシップ及び就職を目指した2023年5月・6月企業との交流会情報 (5月度及び6月度に塩野義製薬や川崎重工業などを追加)

 PDF document

 【Career / Advance reservation required】Information on exchange meetings with companies in May and June 2023 aiming for research internships and employment (Added Shionogi and Kawasaki Heavy Industries in May and June)

 PDF document

2023年6月度

【キャリア】
オンラインによる企業交流会の開催
6月28日(水) 機械・電気電子・材料系企業が参加
6月29日(木) 化学・医薬・バイオ系企業が参加

対象者専用サイト

世界経済が激変する中で進路環境が変化し、キャリアパスが多様化しているため、それに応じた活動を実施する。

- ・本学の過年度におけるアカデミア・ノンアカデミア及び各業界の就職状況のレクチャー
- ・日常的なキャリア系メンターとの相談体制の確立
- ・民間企業などを招致した「キャリアに関する企業との交流会及び「研究成果発表会」を年に複数回開催し、キャリア・アンカーの理解を深耕
- ・自大学でのポストを確保



キャリアイベントでの
面談風景

社会と繋がる研究を深めるポスドク・博士・修士のための
岡山大学科学技術イノベーション創出フェローシップ事業
研究インターンシップに向けた
学生と企業の交流会2022
ZOOMIによるオンライン開催
2022年6月24日(金) 13:00~17:30

オンライン開催 —ZOOMを活用し、企業プレゼンテーションと質疑応答を交えた双方向型の企業交流会の開催！—
(※完全オンライン型開催・完全予約制)

企業プレゼン&個別説明会 参加企業	スケジュール
イーグル工業 川崎重工業 京セラ ダイセル タダノ 日東電工 福場製作所 村田製作所 リコー(バイオ・薬学系)湧永製薬 (上記10社は参加決定) 住友ファーマ 林原 武田薬品工業 (上記3社は参加検討中) (敬称略)	運営本部(大学会館1階 セミナールーム) ●13:00~13:15 開会挨拶 ●13:05~13:15 産学協働イノベーション人材育成協議会による事業紹介 ●13:15~13:25 コーディネーターによる研究インターンシップの説明 ●13:25~14:20 企業によるプレゼンテーション ●14:50~17:00 研究インターンシップに向けた企業・学生説明会(説明25分・移動6分) ●17:20 閉会挨拶

主催：岡山大学 教育推進機構 学生支援部門 博士人材キャリア開発セクション
共催：(一社)産学協働イノベーション人材育成協議会

お問合せ先 (担当：町田尚史)
〒700-8530 岡山市北区津島中2-1-1
TEL:086(251)7196 / E:MAIL:przw4day@okayama-u.ac.jp

お申し込みは、QRコードからお願います。
※お申し込みの際はGoogleアカウントでログインし、申し込みを行ってください。

DCSP
博士人材キャリア開発セクション

オンラインセミナーチラシ

下記事項について履行していただきます。

- 研究進捗報告書(中間・最終)の提出
- メンター面談(研究・キャリア)
- 研究力向上、キャリアパス支援に関する企画 等

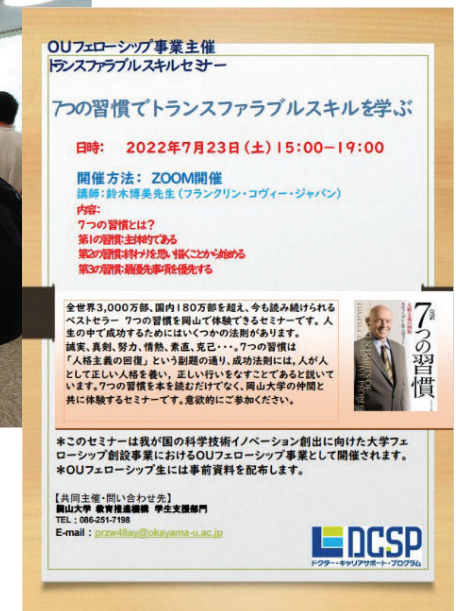


また、下記のようなセミナー・イベントに参加していただきます。

- 認定証授与式
- 学生と企業の交流会
- トランスファラブルスキルセミナー
- 博士人材が活躍する業界・仕事研究会
- 研究成果報告会
- 英語論文セミナー



等



OUフェローシップ事業主催
トランスファラブルスキルセミナー

7つの習慣でトランスファラブルスキルを学ぶ

日時: 2022年7月23日(土) 15:00-19:00

開催方法: ZOOM開催
講師: 鈴木博典先生(フランクリン・コヴィー・ジャパン)

内容:
7つの習慣とは?
第1の習慣: 主体的である
第2の習慣: 誠実さを怠らぬ
第3の習慣: 親善優先・責任優先

全世界3,000万部、国内180万部を超え、今も読み続けられるベストセラー「7つの習慣」を岡山で体験できるセミナーです。人生の中で成功するためにはいくつかの法則があります。誠実、真摯、努力、情熱、勇気、死生観、7つの習慣は「人格主義の思想」という前提の基に、成功法則には、人が人として正しい人格を養い、正しい行いをなすことであると説いています。7つの習慣を本を読むだけでなく、岡山大学の仲間と共に体験するセミナーです。意欲的にご参加ください。

※このセミナーは我が国の科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業におけるOUフェローシップ事業として開催されます。
※OUフェローシップ生には事前資料を配布します。

【共同主催・問い合わせ先】
岡山大学 教育推進機構 学生支援部門
TEL: 086-251-7198
E-mail: prize4day@okayama-u.ac.jp

DCSP
ドクター・キャリアアドバイザー・プログラム

研究面・キャリア面双方に「総括メンター」を置き、ダブル総括メンター体制によって対象者を支援します。



研究
大塚 愛二 教授



キャリア
町田 尚史 准教授

本日の動画やFAQは、後日公募ページに掲載します。
以下からアクセスしてください。



【問合せ先】

岡山大学研究協力部研究協力課
OUフェロークシップ事務局

Email: ou-fellowship@adm.okayama-u.ac.jp

Tel: 086-251-8462